



瀬戸国有林の遊歩道沿いのツツジ

「愛知森林管理事務所 豊田森林事務所」
 首席森林官 山口 元
 豊田森林事務所は、自動車メーカー「トヨタ」の本社が所在する豊田市の中心地にあり、豊田市、瀬戸市、犬山市に約二千九百ヘクタールの国有林を管轄しています。



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。
 そこで各地にある森林事務所や地域の特色、森林官の仕事などを紹介していきます。

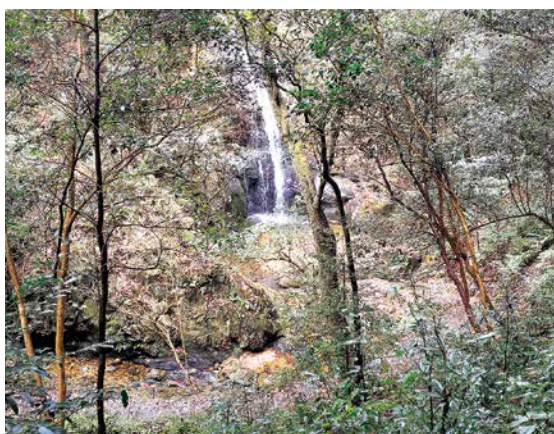
一方、住宅地が国有林に隣接していることから、道路沿いの待避



定光寺から望む名古屋駅高層ビル群と東谷山

比較的都市部に近い、犬山、八曽、瀬戸の各国有林は、都市近郊林として、キャンプ場、遊歩道などが整備されるとともに、国有林内を通過する東海自然歩道は多くの方に利用されています。

所や駐車スペース付近は、不法投棄場が目立ち、地域関係者とともに、ゴミ対策について粘り強く対応していく必要を感じています。
 森林事務所の主な業務は、現在造林事業と国有林の管理や森林ふれあい事業ですが、次期計画からの間伐事業の大幅な増加に備え、業務を効率的に進めていく必要があります。



八曽の滝の前を横切るトレイルランニングのコース

また、三月には八曽国有林で八百名が参加するトレイルランニングの大会が開催されることとなっており、モミの木駐車場を出発し、国有林内の起伏の大きいコースを、ロングコースとショー

トコースに分かれて競い合います。

体力に自信のある方は、是非参加してみたいかがでしょうか。

■未来の担い手へのメッセージ

この仕事は自然が相手で、すぐ結果が分かるものではありません。しかし、先人たちが手をかけた立派な森林を見て、自分が施業を行った森林もいつかはこうなるのかと思うと、感慨深いものがありますし、大変やりがいを感じる仕事だと思っています。

一生の仕事として、国有林への就職をお勧めします。



森林計画作成のための現地検討会（右端が筆者）

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「森林・林業界からの便り」

ひわだ
日和田林産 有限会社よしもと りゅうせい
吉本 龍誠

(二〇一九年入社)



■事業の概要

請負事業・森林環境保全整備事業（保育間伐活用型 飛騨4青屋）

発注者・飛騨森林管理署

現場はヒノキ・カラマツの人工林で、高性能林業機械を用いて

間伐材の搬出作業等を行っています。急傾斜で大きな岩石も多いことから、現場踏査を十分に行い、集材距離、路面勾配に配慮して作業道を開設し、また、全員で意見を出し合いながら生産性向上に繋がるよう事業を実施しています。

■現場での役割、魅力

前の仕事の経験を活かし、先輩の指導を受けながら森林作業道の支障木伐倒等を行っています。除根作業を行う場合は作業がしやすいよう伐採位置を高めにし、集材する場合は根株が支障とならないよう地面ギリギリに伐採するなど、次の作業の流れ、効率を考えて伐倒するように心がけています。

また、丸太の巻立作業等で重機操作の経験を積んでいます。各作業のポイントなど、先輩からのアドバイスを吸収し、自分なりに色々考えて日々の状況に応じた作業が出来ることが新鮮です。班の担い手として一人前になれるよう日々頑張りたいと思います。



丸太の巻立作業

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ

私は高山市出身で、地元の飛騨高山高等学校環境科学科（林業専攻）に入学するまでは、林業にはあまり興味はありませんでしたが、実習で行った造材作業、小径木の伐倒などで、初めてチェーンソーに触れ、木を切る楽しさを知りました。

また二年生の時に参加した山仕事インターンシップでは、高性能林業機械の試乗体験や直径三十センチ以上のカラマツの伐倒を体験させていただきました。木が倒れて

いく様子に圧倒され、地響きに驚き感動し、将来の仕事はチェーンソーを使った仕事をしたいと思うようになりました。卒業後、名古屋市などで造園の仕事に従事していましたが、結婚を機に地元へ戻って林業に携わりたいと思い、インターンシップでお世話になった今の会社に就職することになりました。

■未来の担い手へのメッセージ

林業は危険というイメージがありますが、日々違う環境の中で作業手順を遵守し、必要な準備を万全にすることで、安全が確保されます。地域の森林を守り、活用する大切な仕事です。担い手として一緒に頑張りましょう。



指差呼称「方向良し」

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」

株式会社 相模組

牛越 幹
(二〇一六年入社)



事業の概要

請負事業… 芦間川災害関連緊急
治山工事

発注者… 中信森林管理署

平成二十八年の豪雨により土石流が発生し、既設治山ダム三基が埋没し、溪床には現在も不安定な土砂が多く堆積しており、大雨により土砂が流出する危険性がある

ことから、溪間工を三基設置する
工事を行いました。



生コンクリートを流し込んでいる様子

現場での役割、魅力

当現場での役割は、丁張設置作業、出来形等の写真撮影など現場管理の作業を行いました。特に測量は出来形に影響する部分で、精度が求められます。構造物が、出来形不足にならないよう、一つ一つの作業を丁寧に行い、確認をしながら業務にあたりました。

現場の標高は千メートル以上あり、天候も変わりやすく、河川内という

こともあり、自然を相手に作業するのは非常に大変でした。しかし、日々の業務の積み重ねで、少しずつ出来上がっていく構造物を見ると達成感があり、やりがいを感じました。



谷止工コンクリート出来形検測の様子

林業土木の世界に

入ったきっかけ

父が建設業に携わっており、幼い頃から土木は身近な存在でした。仕事の手伝いなどをするうちに、私も父のような建設業を担う一人の技術者として働きたいと思い、専門的な分野を学べる高校へ進学しました。

現在、(株)相模組へ入社し、四年目となりました。技術者として一人前になるため勉強の毎日です。

将来の建設業を担うため精進してまいります。

未来の担い手へのメッセージ

建設業は3Kなどと言われ、あまり良いイメージはありません。「きつい・汚い・危険」そんなことも時にはありますが、それ以上に私はこの仕事にやりがいを感じています。建設業は生活の基盤となる重要な仕事です。建設業に従事する自分にしかできない役割もあると思います。これからの生活基盤を支える技術者として一緒にがんばっていきましょう。



完成した谷止工工事現場の様子